



若き誇り いのち輝く 仁多中学校

擽けやき



仁多中ブログです

奥出雲町立仁多中学校  
令和8年6月19日  
校長 星野 寿幸

## 出雲部ブロック大会（6月1日、2日、3日、9日、10日）観戦記

今年度から、出雲市、雲南市、奥出雲町、飯南町の2市2町の中学校が一同に集い出雲部ブロック大会が開催されました。仁多中学校からは、剣道部、ソフトテニス部、陸上部、バレーボールクラブが出場しました。

ソフトテニス部は、1日に個人戦を行いました。残念ながら、個人戦で県総体の出場権は獲得できませんでした。2日は雨で順延となり、3日に団体戦が行われました。4チームのリーグ戦で上位3チームが決勝トーナメントに進出します。河南中、出雲三中に敗れ、最終戦は斐川西中と対戦しました。3つのペアが対戦し、2勝した方が勝利となります。1勝1敗で迎えた最終戦は、ゲームカウント0 - 2まで追い詰められたところから粘りを見せて1セットを奪い返しましたが、惜しくも敗れました。残念ながら、県総体の出場権は獲得できませんでした。応援席も選手も一体となって戦う姿が印象に残りました。



剣道部は、2日に個人戦と団体戦が行われました。午前中の個人戦では、男女合わせて7人が県総体個人戦の出場権を獲得しました。午後から行われた団体戦は、男女とも息詰まる熱戦でした。女子の初戦は、斐川西中と対戦しました。先鋒、次鋒、中堅と引き分け、副将戦では1 - 0で勝ちをおさめ、大将戦になりました。試合時間3分が早く過ぎてほしいと思いますが、こういう時に限ってなかなか時間が進みません。一進一退の攻防が続き、相手チームから拍手があがる度にひやひやしました。大将戦も引き分けとなり斐川西中に勝利して準決勝に進出しました。準決勝の出雲一中戦は善戦及ばず敗戦となり3位という結果でした。



男子団体戦は、初戦横田中に快勝し、準々決勝で出雲二中と対戦しました。幸先よく先鋒が勝利をおさめました。次鋒が敗れ互角の展開で中堅戦を迎えました。仁多中が果敢に攻めて見事勝利をおさめ、副将につなぎました。副将戦は、相手の旗が何回かあがりかけてひやひやしました。粘り強く戦い副将が引き分けに持ち込み、大将戦も引き分け、出雲二中に勝ちました。準決勝では大社中に力の差を見せられて敗戦し、3位入賞となりました。

バレーボールクラブは、2日に予選リーグを戦いました。3チームのリーグ戦で上位2チームが翌日からの決勝トーナメントに進出します。初戦は斐川東中と対戦しました。1セット目は、序盤からリードを許し、途中サービスエースから追い上げましたが、そのまま逃げ切れセットを失いました。2セット目は序盤からリードし、最初にセットポイントを奪いました。しかし、そこから追いつかれジュースになり一進一退の攻防が続きました。最後は斐川東にリードされ、セットカウント2 - 0で負けました。続く、出雲南中戦は、終始安定した試合を展開し、セットカウント2 - 0で勝ち、翌日の決勝トーナメントに進出しました。14チームによる決勝トーナメントは、一勝すると県総体の出場権が獲得できます。大社中を母体とするクラブチーム「ルミナス」と対戦しました。レシーブで粘り必死に食らいついたものの、相手の高さを生かした多彩な攻撃に圧倒され、セットカウント0 - 2で負けました。



陸上部は、9日と10日、浜山陸上競技場で大会が開催されました。全ての種目がタイムレースで行われ、県総体参加標準記録(A)を突破した選手、各種目で上位入賞し県総体参加標準記録(B)を突破した選手が県総体に参加できます。これまでの雲南市・飯南町・奥出雲町のブロック総体とは違い、参加人数も多く、各種目ともレベルが高く、県総体出場のハードルがこれまで以上に高くなったと感じました。自己記録更新や県総体参加標準記録突破を目指して懸命に走り、投げ、跳ぶ姿がありました。陸上は、競技をしている時は個人競技ですが、他の選手が大きな声で応援する様子を見ていると、チームとして戦っているのだと感じました。個人では8人、リレーでは3チームが県総体に出場します。



県総体の出場権を獲得した人は、ブロックの代表として、仁多中学校の代表として、県総体までの残り1か月、一生懸命練習に取り組み、最高の状態で県総体を迎えてほしいと思います。残念ながら県総体の出場権を獲得できなかった人は、あらたな目標に向かって頑張してほしいと思います。

## 【ブロック大会結果】 敬称略

### ○剣道部

男子団体 第3位  
1回戦 仁多中 5-0 横田中  
準々決勝 仁多中 2-1 出雲三中  
準決勝 仁多中 0-3 大社中  
女子団体 第3位  
1回戦 仁多中 1-0 斐川西中  
準決勝 仁多中 0-2 出雲一中  
個人戦 県総体出場

男子 4名

女子 3名

### ○ソフトテニス部

男子 Aリーグ

仁多中 0-3 河南中  
仁多中 1-2 出雲三中  
仁多中 1-2 斐川西中

### ○陸上

男子110H 第5位 石原  
男子棒高跳び 第4位 藤井  
男子4種競技 第6位 石原  
男子1年400mリレー 第4位  
男子低学年400mリレー 第2位  
女子低学年400mリレー 第1位

### ○バレーボールクラブ(リアン)

予選リーグ

リアン 0-2 斐川東  
リアン 2-0 出雲南  
決勝トーナメント 1回戦  
リアン 0-2 ルミナス



## にこここ出会いの会(6月11日)

奥出雲町内4小中学校の特別支援学級の児童・生徒48人が仁多町民体育館に一齐に集い、にこここ出会いの会が行われました。今年度は、ミニ運動会として3つの種目を行いました。開会式、2つのチームに分かれての自己紹介、準備運動の後に、ミニ運動会が始まりました。最初の種目は玉入れでした。中学生の入れるかごはかなりの高さでしたが、あっという間にかごをたまでいっぱいにしていました。次の種目ジャンケンピラミッドでは、勝つたびに大きな声をあげながら夢中でジャンケンをしていました。最後の種目はボール運びリレーでした。中学生はさすがのスピードであっという間に駆け抜けました。たくさんの笑顔があふれるにこここ出会いの会になりました。仁多中生は、用具の準備や片付けをしたり、小学生に優しく声をかけサポートをしたりと、たいへん立派なふるまいで、他校の先生方からもたくさん褒めていただきました。



## 「24時間ルール」

ブロック総体では、各会場で沢山の保護者の方が生徒たちを応援してくださいました。ワンプレーごとに大きな声援を送り、生徒たちはその応援の聲が励みになったと思います。

私も3人の子どもたちが運動部に所属していて、大会の時には会場に行き応援をしていました。たまたま子供たちがしている種目を私もしていたので、小学生のころはつつい熱くなって、試合が終わった後の帰りの車の中で、チームが負けたり、我が子がふがいないプレーをしたりすると、「何であんなプレーをしたのか」とか「あそこはこうすればよかった」とかいろいろ言っていました。そういう時は帰りの車の中が重く重い雰囲気になります。やめた方がいいなと思いつつも、毎回同じようなことを繰り返していました。

ある時、スポーツ指導者の講習会に参加しました。その際に「24時間ルール」という話を聞きました。アメリカのジュニアチームで使われているルールで、保護者は我が子の試合が終わった後、24時間経ってから我が子にその時の試合の話をするというものです。これは、子どもは言葉には出さないけども、試合で上手くいかなかったことは自分で分かっている、悔しい思いを持っているので試合直後に親があれこれと言わない、24時間経ってから、つまりは翌日になってから試合のことを親子で話すというルールです。確かに、負けた試合の直後などは親も感情的になっていて、つつい言葉がきつくなります。一晩経って落ち着いた状態で試合の話をした方が、子どもも素直に話を聞いてくれますし、自分の気持ちを素直に言うことができます。

この話を聞いてから、我が家ではずっと24時間ルールを守っています。(我が子のプレーにどんなに腹が立っても試合当日は我慢します)試合後は、「頑張ったね。」「お疲れさん」の一言だけを言っています「24時間ルール」を知って本当によかったと思います。